

新宮木協コミュニケーション誌

No. 138 **1/1**



新宮

木協だより

2017年(平成29年)
(昭和37年12月10日創刊)
発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL. 0735-22-6105(代)
FAX. 0735-22-6107

URL: <http://www.shingumokkyo.com> e-mail: s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



賀 正

木霊塔行事の盛大な餅投げ

献木者：稲垣 幸二 氏

(株)新宮原木市場 新春初市 1月19日(木)午前10時開市

新年のご挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでと
うございます。旧年中は組
合活動に格別のご指導・
ご協力を賜り誠にありが
とうございました。本年
もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

さて、平成二十五年度
に事業化された新宮・紀
宝道路は、ご存知のよう
に当組合所有地である
「貯木場」の一部を通
するルートとなっております。
そこで本年は当組
合が先人から受け継いで
きた「貯木場」の歴史・
変遷等について述べさせ
て頂きます。

まず明治中期に木材問

屋が協議し貯木場開堀

(荒地・藪地を掘って水

面貯木場にする)を計画、

官有地貸下げや民有地の

買収により土地を確保し

一万余坪を開堀しました

(「旧堀」)。またその後明

治後期には旧堀に隣接し

た南方一万坪の民有地を

買収し、開堀して貯木場

としました(「新堀」)。

これらを記念した「貯

木場開堀碑」が木材会館

前庭の木霊塔敷地内に建

っており、両側面には「西

明治二十四年四月竣工」、

「南明治四十年四月竣

工」と刻まれております。

明治時代に造られた

「旧堀」・「新堀」は、熊

野川を筏に組んで流送さ

れてきた材木を集荷する

ため「水面貯木場」でし

た。

ところが昭和になり熊

野川流域でのダム建設計

画によって筏の流送がで

きなくなる―すなわち流

送材の陸送転換をせざる

を得ない状況になり、電

発補償や県の協力を受け、

熊野川河口を開削した残

土をもつて水面貯木場を

埋め立て陸上貯木場とす

ることになりました。

その一部が現在、主に

組合員さんが丸太・製品

置場として使用頂いてい

る「上貯木場」、(株新宮原

木市場が市をしている

「下貯木場」であります。

ざっと歴史を振り返り

ましたが、その間の工事

や交渉は大変なものだ

ったようです。例えば「旧

堀」は着工後すぐに未曾

有の大洪水(家屋五五六

戸流失等)にみまわれ、

そのため工事は一時停頓

してしまつたとのことで

す。

またダム建設により流

送材の陸送転換をせざる

を得ない状況になった際

には、電源開発との補償

問題で関係諸団体と協議

を重ね、先進地に視察団

を送って各ダム補償の資

料を収集したりなどの対

策を練り、補償要求を開

始してから妥結までに四

年を費やしたとの事です

(参考文献・新宮木協百

年史・新宮市史)

以上申し上げた通り、

明治以来百年以上にわた

り当組合が先人から受け

継いできた貯木場―その

一部が今回新宮・紀宝道

路の建設及びそれに伴う

県道の拡幅により収用さ

れます。

今年から国交省等との

交渉が本格化してくると

思われますが、新年を迎

えるにあたり今一度組合

員の皆様にご指導・ご協

力をお願い申し上げます

共に、皆様方のご健勝・

ご多幸を祈念し、新年の

御挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年も

よろしくお願

い申し上げます

組合員一同



新年のご挨拶

株式会社 新宮原木市場

代表取締役社長 谷口 泰仁

新年明けましておめでとうございます。

本年も原木市場に対しまして格別のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、昨年8月29日の第51期定時株主総会並びに役員会に於きまして社長に選任され就任致しました。前任の瀧岡前社長同様お引立て賜りますようよろしくお願い申し上げます。

当市場も創業以来50年が経過し、この間本当に多くの方からご愛顧を頂き地域の原木流通機関の使命を果たすべく役員一同懸命に努力して参りましたが原木市場を取り巻く環境は大きく変化し取扱数量・原木価格・売

上高全てが大幅に落ち込み市場経営も大変厳しい状況に置かれております。

こうした状況の中、原木流通機関として初期の目的を続けて行く為に関係の皆様方のお力をお借りしてあらゆる努力をして行かねばなりません。

しかし、住宅着工数、木材需要量、製材工場数等どれを見ても大きく落ち込んでいる中で市場の経営をどのように進めて行くか非常に難しい問題が山積しております。業界全体が縮小して行く中で木主・買方の双方の皆様から信頼される市場としてどうしたら生き残って行けるか細部に亘って検討して行く必要があります。

まずはおお客様とのきめの細かい応対、更に一歩進めたお客様の求めを先取りした形での対応等少しでも気の効いたお客様目線での迅速な運営について全役職員が心掛けて行きたいと思えます。又、

市場の効率化には、優良材を中心とした集荷・販売が理想ですが、当市場は新宮木材協同組合との関係が深い事から、公共的な立場からの視点に基づき先輩の教えである原木市場は『専門店』ではなく何でも扱う『百貨店』としての経営が必要であるとの言葉も胸に刻み、

原点である『原木の集荷』に愚直に取り組むために、更に川上への積極的な資金投資、例えば山林購入や素材業者への手厚い支援等も検討しながら時代のニーズに合った経営を進めて参ります。又、皆様既にご存知の通り新宮・紀宝道路の事業化に

よって現在の貯木場が大きく収用されることから他の場所への移転が余儀なくされます。選別機や皮剥機の移設は勿論のことお客様との取引に支障をきたさぬ様に営業をストップすることなく市売りの継続的開催についても、最善の方法を検討しなければなりません。又、

先行して昨年11月新宮原木買方組合の皆様との懇談会の中でお願い致しましたが、本事業に関連した貯木場の盛土工事の為、貯木場内にある未引取材の早期引取りについてもご迷惑をおかけ致しますがよろしくお願い申し上げます。

新年早々皆様方にはお願いする事ばかりであります。木材の町新宮に在ってその中心的役割を果たしてきた自負を持ち新宮から原木市場の火が消えないように役職員一丸となって頑張つて参り

謹賀新年

旧年中の

お引立てとご愛顧に

厚く御礼申し上げます

本年も倍旧のお引立て

を賜りますよう

お願い申し上げます

(株)新宮原木市場役職員一同



臨時総会開催

平成28年12月6日(火)午後4時より臨時総会を開催しました。(本人出席16名、代理人出席6名、委任状出席5名、合計27名)

平成25年に国に於いて事業化された新宮・紀宝道路については、組合所有地を通るルートとなっており、今後の組合運営に大きく影響を受けることから、これまでも全員懇談会等を通じて国交省との交渉等経過報告について説明してきました。しかし、新宮木材業界の発展に大きな役割を果たしてきた特別管理財産の一部収用という重要な案件であり一つ一つ丁寧に説明し理解を頂く為に次の通り臨時総会を開催したものであり、提出議案は慎重審議の上付帯決議の下承認可決されました。

第1号議案

記

新宮・紀宝道路の事業化に伴う特別管理財産一部収用承認の件付帯決議

①これから国交省との収用金額等の交渉のテーブルの席に着く。②今後の交渉で収用面積、収用金額等が具体的に変わった時点で改めて総会で審議する。報告事項

新宮・紀宝道路に関する経過報告の件
①今後、組合員からの意見も参考にしながら国交省等の交渉を進めて行くこととなりました。



臨時総会風景

新宮・紀宝道路

先輩方との懇談会

新宮・紀宝道路については、着々と準備が進んでおり、6月30日には国交省より道路設計に基づいて道路幅の幅杭を行なう為の説明会が開催されました。その後国交省による幅杭の打設と地上物件調査が行なわれ、一方和歌山県に於いても県道拡幅に伴う幅杭の打設が行なわれました。こうした中で、組合内部に於いては機能回復道路の設置や上貯木場有効利用の為に(株)山一木材様所有地の代替取得等について特に組合の先輩方のご意見、ご指導を頂く為に9月26日に懇談会を開催し活発な意見交換を行ないました。

キャラバン活動

公共建築物に於ける紀州材の利用促進を図るため和歌山県木連、和歌山県森連、紀州林業懇話会で組織する和歌山県木材利用推進協議会では、例年近隣自治体を訪問してキャラバン活動を行って

いますが、今年も次の通り実施し紀州材のPRに努めました。その中で新宮市長より、文化複合施設建設の際はふんだんに紀州材を使用するとのお言葉を頂戴しました。

記

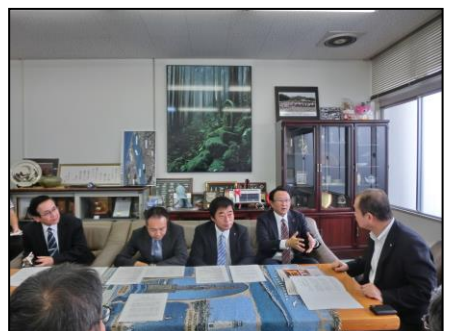
- 10月26日(水) 午前9時〜
- ◇新宮市を訪問 午前10時10分〜
- ◇那智勝浦町を訪問 午前11時10分〜
- ◇太地町を訪問



太地町役場



那智勝浦町役場



新宮市役所

新宮原木買方組合
新宮原木市場役員
懇談会

平成28年11月4日

午前11時～

買方組合と原木市場役員との懇談会を約4年ぶりに開催しました。

谷口 泰仁社長より挨拶があり、次に速水 渉買方組合長より挨拶がありました。

その中で、買方組合長を20年・相談役を15年と大変長らく続けてこられた山中 清澄氏がこの懇談会をもって退任されると述べられ、記念品の贈呈を行いました。山中氏は相談役を勇退されませんが組合には在籍されるので豊富な経験を生かし今後ともご指導をお願いしました。

懇談会の内容は、原木市場の新役員の紹介、新宮・紀宝道路事業に於ける試験盛土の関係で買方

に対するお願い事項等についての話し合いでした。

また、買方組合員から原木市場に対する思いを聞く場面もあり夫々意見交換を行いました。

山中氏の経歴

買方組合長就任 昭和56年 6月～

買方組合長退任 平成13年 6月

買方組合相談役就任 平成13年 6月～

買方組合相談役退任 平成28年 11月4日

買方組合長を20年 相談役を15年 計35年



山中さんと記念品



記念品の贈呈



谷口社長挨拶

リスクアセスメント
講習会

今回のリスクアセスメント講習は事業主向けのものであり、資料を基に過去3年分の死傷災害発生状況について松本講師から説明を受けました。

その中で、労働災害防止対策の基本について①安全衛生管理体制の確立 ②日常的な安全衛生活動の活性化 ③適正な作業方法の確立 ④安全衛生教育の実施と法定資格者の確保 ⑤機械類の安全化を図り、点検整備に励行 ⑥各種作業に合った適正な保護具を、的確に着用・使用する事の6項目についてより詳しく説明を受けました。

また、井潤講師より練習問題のイラストを基にリスクの洗い出しについてのポイントや注意点等の説明を受け、その後参加者でグループを作り実際にリスクの洗い出しを行ない、対策・災害を生かさせない仕組みまでを



リスクアセスメント

考え意見を出し合いました。各グループが結果を報告し、さらに講師より補足説明を頂き、リスクアセスメントに対しての知識・意識の向上に繋がりました。

記

日時 10月6日(木)
14時30分～16時30分

講師 林 炎防 近畿担当安全管理士
松本 守生氏
講師 井潤 松一氏
社会保険労務士

30 周年木原造林株

優良材特別記念市見学

日時

10 月 29 日 (土) 10 時〜

開催場所

ウッドピア松阪市売協同組合
三重県松阪市木の郷町 11
出荷量 約 5500 m³

10 月 26 日松阪のウッドピアにて 30 周年木原造林株優良材特別記念市が開催されました。天候は秋晴れに恵まれ心地のよい日になり、そんな秋晴れの空の下広大に広がる土場全体に原木がぎっしりと並べられている様は圧巻の一言でした。その中でもひとときわ目を引いたのが、樹齢 400 年生の杉や同じく樹齢 400 年生の松又、樹齢 300 年生のトチの木でした。なかなかお目に掛かることの出来ない

素晴らしい原木の数々が堂々とそこに並べられていました。競りが始まると大勢の人が競り子の周りに集まり、競り子の掛け声と共に次々と原木が競り落とされて行きました。中には 3 万から始まり 9 万まで競り上がって行くこともあり、その様子を見てみると興奮を覚ええました。そんな中一番印象に残ったのが、樹齢 400 年生の松を競った時でした。見る見る金額が上がり最終 140 万で落札され、木材業界が厳しいと言われる中でその瞬間はまだまだ凄いなと感じました。普段では出来ない貴重な体験を多くさせて頂き充実した時間を過ごすと共に勉強になる一日となりました。

(山本 盛都)



m³ 140 万円の松



競りを行なう谷口副理事長



開会の挨拶を行なう岩本社長

新宮市庁舎

建設部材納入

新宮市庁舎の建設工事が進められておりますが、内装及び備品工事の関係で紀州材(熊野材)が使用されることとなり、組合が窓口となり組合員からの申込みを取りまとめ、3 業者に対して木材製品の納入を行いました。(約 15 m³ 約 450 万円(運賃込))

全木協連会長賞受賞

稲垣 幸二 氏

日時 11 月 10 日 (木)

富山県富山市の富山県民会館で行われた第 51 回全国木材産業振興大会に



受賞おめでとうございます

於いて木材産業功労者として長年新宮木材業界で活躍されている、当組合監事の稲垣 幸二氏が全木協連会長賞を受賞され理事會にて植松理事長より、表彰状とお祝いの贈呈式を行いました。

佐野スーパーカー
ミーティング

日時 11月6日(日)

場所 スーパーセンター
オークワ南紀店 駐車場

陸の孤島と言われる新宮に何とか来て頂きたいと思い、友達に声をかけて協力して頂き、普段めったにお目にかかれな

いランボルギーニ・フェラーリ・アポロ・マクラ

ーレン・ポルシェ等が集まり、神戸・大阪・滋賀・

和歌山・岐阜・三重・総勢約40台・総額10億円を

超すオーナー達に来て頂きました。

11時〜14時までの3時間、スペース前前で

パレード・その後展示会、通常ではまず、こちらに

来てくれない現役レース

クイーンが現れるとカメラ

ラフラッシュの嵐、子供から大人まで大勢の人達

に見に来て頂きました。オーナー達の感想とし

て、初めてパレードに参加して大勢の人達に歓迎

して頂き恥ずかしいやら、楽しいやら複雑な気持ち

だったそうです。こちらに来るのは、思った以上に遠いですね

〜と言われ、だけど皆さんの歓迎を受けまた来年

はどうですか?と尋ねるとまた来ますよとの返事を

頂き大変うれしく思いました。スーパーカーを

持たないと相手にされないという感じがあります

が、たまたま皆さんとお付き合いができたおかげ

で今回来て頂きました。

ランボルギーニアペンタ

ドールで5700万・アポロ6300万・フェ

ーリ3600万・オーナーは医者・社長・役員

の人が多いです。又、今年も開催して欲し

いとの声が多く寄せられており、10月に計画した

いと思っっています。皆さん楽しみにして下さい。

(岡崎 武人)



岡崎氏の車とレースクイーン



スーパーカーの数々

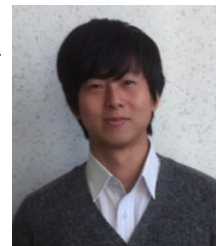


オーナーの皆さん

新入職員の紹介

新宮木材協同組合
事務局

やまもと しげと
山本盛都さん



生年月日/1987年(昭和62年)7月27日

年齢/29歳

血液型/O型

趣味/サッカー・フットサル・TVゲーム(PS4)

【ひとこと】木協事務局の山本と申します。高校を出てから10年間ずっとお世話になっていた滋賀県のダイハツ工業を平成28年の7月に退職し帰郷してきました。そんな中、ご縁があり9月から木協でお世話になっています。今までと畑違いの仕事ですが、色々な事に貪欲にチャレンジし、一日でも早く皆さんのお役に立てるよう日々努力して行きますので、どうぞよろしくお願致します。また、長い間地元を離れていましたので地元の美味しいお店等々を是非教えて欲しいです。

藻谷先生の講演

日時 12月8日(木)

11時~12時40分

場所 木材会館

講習テーマ『地方に於ける木材産業の展望』

参加人数 36名

主催 紀南木材新緑会
司会進行

古座川町産業建設課

板持 浩之氏

(新緑会賛助会員)

まず、紀南木材新緑会の竹中 俊介会長より開会の挨拶が行なわれ、引き続きの通り講演会が開催されました。



藻谷先生

海外の木造建築

欧州での高層木造建築の例をあげ、建築家は日本人 坂 茂氏(バンシゲル) 外壁・屋根にも集成材を使用する事によって軽くなり地震に強く、耐火性にも優れ、又、断熱性が高いことから空調のコストダウンにもつながら。更に、人間の心理として外側に集成材等を使用すると内装はもっといい木材を使おうという気になりより多くの木材を使用してくれる。しかし、日本では建築基準法・消防法の改正が行なわれないと、高層木造建築物は建てられない。欧州では植林の義務があり、国内の木材需給・輸出によって生産性向上を図ると共に山林業も栄えている。

日本の真似すべき

大規模木造建築

日本での木造建築物では、山形県南陽市文化会館、岩手県住田町役場等を例に、事業費の削減の成功、寒冷地での木材の断熱性の利用、又、木材の現地調達の実現等により地域活性化にも繋がりが、文化複合施設の存在で集客にも期待できると述べていた。そのような事例を参考に、市や県が率先して新たに建てる公共施設を木造建築物にしていく事で、木材で栄えた街のシンボルにもなり、民間業者の後押しにも繋が

木造住宅建築

住宅でも付加価値を付け、木材の特性を生かした木造住宅で勝負している地域もあり、例を幾つ

か紹介した。その一つが兵庫県神戸市北区上津台の新建材住宅地の一角を里山住宅と銘打って夫々の工務店がオール木造で住宅を建てたものである。鉄筋コンクリート建築に比べ木造の方が断熱性も高く冷暖房にお金が掛からない利点があるのとこの。こういったことから付加価値を付けることで木材の需要はまだまだある。

海外との比較から見る

日本の可能性

海外と比較すると、日本は木があるのに活かせていない。木の需要は十二分にある。一般の人は日本人が木を使っていないかと思っいるが世界的に見ると日本の木の消費量は世界第3位で約7400万³mである。その内

国産材は約2000万³mしかなく残りの約5400万³mは輸入材に頼っているのが現状。木材消費量が約4230万³mで日本より木を使っていないドイツより森林面積は2.5倍・切れる木も1.5倍もあるのに林業の力がない為、国内需要を捌ききれないのが現実である。人件費が高く林業に人を割けないというイメージもあるが、ドイツの方がまだ人件費が高い。外国に比べ日本は生産性が低いのが原因で、ドイツが生産性で7倍、オーストリアで6倍、工次第でいくらでも生産性は上がる。生産性が倍になれば収入も倍に、収入が上がれば人も集まり林業が力もてる。そうすると自然と国内の林業、木材業に活気が出てきて必ず再生する。

そのことを踏まえて木の街新宮で木を使って色々な物を建てましょう。

質疑応答

質疑応答で出た、バイオマス発電についてもお話しして頂いた。まず、司

会者の板持氏より和歌山県が全国で唯一バイオマス発電施設がない県と説明を受ける驚かれ、既に存在しバイオマス発電についてお話しする必要が無い物だと勘違いしていたと述べ、その後、真庭バイオマス発電所を例にメリット・デメリットを説明した。

◇メリット◇

- ・ 林業・製材業から出る副産物から発電でき無駄がない。
- ・ 他の発電所と比べ規模が小さくできる。
- ・ 他の発電施設に比べ安

全である。

- ・ 材料は地域の人から買
- ・ 近い地域に作ることで運搬費が掛からない。

◆デメリット◆

- ・ 林業者の数が足りていない。
- ・ 周辺に福祉施設がないと発電の際に排出されるお湯の有効活用が出来ずもつたいない。

◎今後作るに当たっての

ポイント

- ・ 大きく作らないと儲からない。
- ・ 集まる木の量に合わせて発電施設を作る。
- ・ 新宮の状況だと3000kwから始めるのが良い。
- ・ 隣に温泉施設を作る。
- ・ デメリットもあるが、メリットが大きいにあるので作ってみる価値はある。
- ・ 最後に作るということは

他の施設のいいところ取りが出来る。

真庭バイオマス発電所は運転開始後一度も停止しておらず、安定して安全に供給出来ている良い例として年に何度も視察や見学等が入っており、周りの温泉地も恩恵をうけているとのこと。

新宮に当てはめると、勝浦や本宮などの温泉地にも良い影響が出ると思われる。

まとめ

最後に、自転車はいくつかのパーツが一つになり、漕ぎ出す時の大きな力と継続力が必要だが、進み始めると勢い良く進む。新宮は質のいいパーツがいくつも揃っているが、一つになりきれず、漕ぎ出す力も弱い、しかし木材はまだ未来ある産

業で諦めずに漕ぎ続けることで最後には勢い良く進みだすので諦めないで欲しいと述べ、数年で状況はがらりと変わる。何もせずじっとしていないで常に動いた方がいいと講習を締めくくった。

藻谷 浩介氏 紹介

生年月日 1964年6月18日
日生まれ 現在52歳
山口県周南市(旧徳山市)

現職

出身 現職
(株)日本総合研究所
主席研究員(会社に席のない単年度更新年俸制社員)
(株)日本政策投資銀行
地域企画部門 特任顧問(非常勤・現職)
特定非営利活動法人 ComPlus 地域経営支援
ネットワーク 理事長
(無報酬)

略歴要約

平成合併前3200市町村のすべて、海外71ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域復興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行なう。2012年より現職。近著にデフレの正体・第七回新書大賞を受賞した里山資本主義(共に角川Oneテーマ21)、金融緩和の罠(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた(新潮社、7名の方との対話集)



講演風景

新緑会のコーナー

出張

木工教室

紀南木材新緑会では新宮市及び東牟婁の小学校を対象に、木のぬくもり
に触れ、木に親しんでもらうことを目的として、出張木工教室を開催しています。

本年も、森林教育として実際の木を前に新宮の木材の歴史・木の成長に掛かる時間・立木の名称等の説明を林業に携わる方にして頂き、「木」をより身近に感じてもらい知識を深め、木に親しんで頂きました。

又、実際の作業ではミニベンチを製作し、木と真剣に向き合い楽しげな子供達があり、改めて活動の意義を感じました。この活動を通して、

子供たちの心に木と触れ合った記憶が刻まれ、興味を持って頂けたら幸いです。

本事業にご参加、ご協力頂いた全ての皆様へ、心より御礼申し上げます。更に、森づくり基金等の補助金を活用させて頂き、本当に有難うございます。

今後も、出張木工教室を継続して行ない未来ある世代に木と親しむ時間を提供して参ります。

(瀬古 伸一郎)



林業に携わる方による森林教育



道具の使い方



自分達で作った作品を持って誇らしげな笑顔

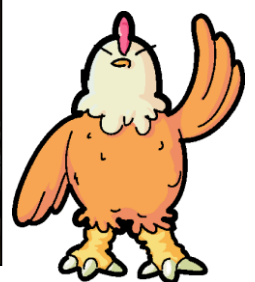


製作風景

第38回 児童生徒
木工工作コンクール

平成28年9月24日・25日の両日、児童生徒木工工作コンクールを開催致しました。439名と前年度を超える多数の方に、ご来場頂きました。恒例となった風船釣りは好評でした。本展では23校で527点の木工作品を展示し、上位3点は、今年6月に大阪府で行われる全国大会に出品する予定です。木工展に協賛いただいた各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(三島 彬)



審査風景



来場者の様子

◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成28年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	6,800 (5,800)	6,900 (5,800)	6,800 (6,200)	4	6~13
	3m 14~20	10,300 (8,600)	10,100 (7,900)	8,800 (7,700)	3	14~20
	3m 22cm上材	11,400 (10,000)	12,200 (11,300)	11,900 (10,800)	3	22~
	4m 14~22	7,700 (8,800)	8,100 (8,600)	8,000 (9,100)	4	14~22
	4m 24cm上材	11,600 (14,000)	10,700 (12,700)	11,400 (11,900)	4	24~
檜	4m 小丸太材	5,200 (5,600)	6,800 (5,300)	5,500 (5,300)	4	6~13
	3m 14~20	9,900 (10,000)	8,800 (9,200)	11,800 (8,100)	3	14~20
	3m 22cm上材	22,100 (22,800)	12,000 (12,900)	16,800 (10,900)	3	22~
	4m 14~22	16,100 (12,700)	13,100 (12,200)	11,900 (11,400)	4	14~22
	4m 24cm上材	23,300 (24,600)	17,600 (20,600)	19,000 (22,600)	4	24~
杉総平均単価		10,900 (11,500)	10,400 (10,700)	9,500 (9,500)		
檜総平均単価		19,400 (17,800)	11,700 (16,800)	13,800 (15,000)		
総平均単価		11,400 (13,200)	10,500 (12,200)	10,900 (10,700)		

(株)新宮原木市場
第51期
定時株主総会

8月26日、新宮木材会館に於いて(株)新宮原木市場の第51期定時株主総会が開催され、提出議案はすべて原案通り承認可決

され、取締役任期満了につき選任の件では長きに亘り当市場に貢献された瀧岡俊太氏、谷畑光彦氏が勇退されました。永年に亘り尽力されたこと厚くお礼申し上げます。また、新たに久保勝靖氏、日下光氏、玉置和夫氏が取締役として加わりま

m³単価 () は平成27年度



総会風景

代表取締役社長 谷口 泰仁
代表取締役 植松 浩
取締役 森谷 功
取締役 岡崎 武人
取締役 久保 勝靖
取締役 日下 光
取締役 玉置 和夫
取締役 稲垣 幸二
監査役 山下 充洋

行事予定

1月19日(木) (株)新宮原木市場 新春初市 午前10時

1月28日(土) 末社詣り 午前10時

1月28日(土) ボウリング大会 午後5時

事務局
年末年始休業のお知らせ
12月30日(金)
1月5日(木)

組合事務局の月一回休業 (土曜日)のご案内 (1月~6月)

1月21日(土)
2月25日(土)
3月25日(土)
4月22日(土)
5月27日(土)
6月24日(土)

第 57 回木霊塔建立供養式



10 月 15 日組合恒例の木霊塔建立供養式を開催致しました。今年は今組合監事で木材加工業を営む稲垣幸二氏から、杉 100 年生超の素晴らしい木霊塔をご献木頂きました。

当日は快晴の下、清水文雅本廣寺住職にお勤め頂き滞りなく厳かに供養を執り行ない式典終了後は、木工展表彰式、紀南木材新緑会員に木協組合員も加わった木遣り音頭 (本年は 1 番、2 番、3 番の歌詞で) の披露その後餅投げを行ない、最後に来賓の皆様と親交を深める懇親会を行いました。その後組合員、新緑会員一同で後片付けの後、慰労会にて無事行事を終了致しました。



木霊塔きごうた揮毫

(献木者と鈴木江郎先生を囲んで)



稲垣幸二氏による祭文



稲垣氏献木の木霊塔

編集後記

◇ 新年を飾る表紙は木霊塔行事の名物となつていている餅投げを紹介しました。新しい年は皆さんが餅投げの時のように笑顔で活気のある一年となりますように祈つていきます。

◇ 藻谷先生の記事は、先年研修旅行で訪れた山形県南陽市文化会館の論議をはじめ概略網羅されていると思えます。先生は「ものを考える」が、一番解り易い次の一点を紹介しておきます。(議論発言の中で臆せず自説を示し、間違つていた場合は悪びれず偉ぶらずすぐ修正する) 哲学者・仏教学者として著名な梅原猛先生も過去の経験から「間違ひは改めるに如かず」と同じ意味の事を述べています。有名人にはなかなか難しいことのように思われますが...

◇ 近頃の木材利用と言えば、木質バイオマスや CLT (直交集成板) が話題の中心ですが、更に進歩した CNF (セルロースナノファイバー) が研究開発され量産されるようです。これまでの木材利用の枠を超えた異次元の領域に突入したように感じます。

◇ 異次元と言えば、岡崎さんにご紹介頂きましたスーパーカーも何か異次元の世界を感じますね。これからも子供達に夢と希望を与えて下さい。

◇ ドナルド・トランプ氏が第 45 代大統領に選出されました。彼を大統領に押し上げた「トランプ現象」はポピュリズム (大衆迎合主義) の典型だと言われます。彼が選挙期間中に発言した移民排除、人権差別、女性蔑視、反自由貿易などの主張をトーンダウン出来るのかどうか、共和党内の力関係を踏まえながら、彼が今後出すカードの表と裏は如何。次期大統領の一手一投足に世界が固唾を呑んで見守つています。

◇ 山中さんおめでとうございませう。長年にわたる労苦が報いられたと思えます。久保さん火中の栗を拾うべく再三にわたる登板についてはある意味あくなき執念を感じます。健康に留意されて最後の御奉公をお願いします。ここでは、山中さん御推奨の日本画家速水御舟さんの言葉を紹介しておきます。「梯子 (はしご) の頂上に登る勇氣は貴い。更にそこから降りてきて、再び登り返す勇氣を持つ者は更に貴い。」内容については久保さんの共感を得られると思われませう。頑張つて下さい。

◇ 日本の山水画家は、人は自然の中に生き、自然は人ぬきで完全でないとしている。多くの日本画の収集家である・P.ドラツカー (経営学の父) の言葉

— 健やかな佳きお年を
お迎え下さい —

